

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		古民家ゆめの森こども園				公表日 令和7年11月17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用定員とスペースは十分確保できています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	国の基準人数は確保できています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	生活空間についてははっきりとした部屋分けなどはせず、子どもたちが主体的に活動するために必要な部屋やスペースの確保を自分たちで話し合いながら臨機応変に使えるようにしています。また、玩具や道具については透明なケースに仕分けしたり、ネームシールや実際の玩具の写真をロッカーなどに貼ったりする等片付けがしやすいよう工夫しています	現在身体に障がいのあるお子様の利用がないため施設は外のスロープ以外、完全なバリアフリー化はしていません	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	生活空間については庭や畑など園舎内外の環境を含み子ども達が主体的に活動できるようにし、静の活動や動の活動がバランスよく楽しめるようにしています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別用の部屋は特別に設けてはいませんが、子どもの様子や状況に合わせてスタッフ用の事務室や和室を子どもたちにきちんと説明した上で困っている（必要な）お友だちのために提供できるようにしています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日、送迎後に出勤時間の異なる職員含めて短時間でも子ども達の様子や気づき、課題などを話し合う時間を作るようにしています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表については必ず職員全員で把握し、保護者からのご意見やご意向については改善できる部分は前向きに検討するよう努力しています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的に職員全体のミーティングをしたり、個別のケース会議等を行ったりするなかでお互いの意見を尊重し、把握しながら業務につなげています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		第三者による外部評価は行っていないですが、市や県の監査を受けたり、地域の方からのアドバイス等を伺ったりしながら業務改善に努めています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		園内研修は定期的に行い、職員の質の向上に努めています。しかし、外部の研修等にはなかなか参加することが難しくできていないので機会があれば必要に応じて参加出来るようにしたいと思います	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	放課後等デイサービスのガイドラインに準じて作成し、ホームページで公表しています		

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	平素から子ども達との対話を大切にし、その中で日常生活、学校生活、友人や家族との人間関係など本人から困り感、悩みなどを引き出し、計画にいいながら職員間で共有したり、意見交換をしたりしながら支援をするようにしています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	平素から子ども達にかかわる中で気になる言動などは児童発達支援管理責任者に報告してもらうようにしています。また、支援前のミーティング等で職員全員で共有しています。計画書の作成にあたってはケース会議で話し合っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画書については作成時に職員間で話し合い、共通理解のもと支援するよう心がけています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントについては日々の活動中や、必要性を感じた場合に行っているが特に決まったツールなどは利用していません。しかし、職員全員が子ども達の声を常に受け止め、確認や検討をしながら支援しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		放課後等デイサービスガイドラインを踏まえながら支援計画書の作成を行っているが、今後県の監査等を受け、さらに改善点があれば改善したり、見直したりしていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	定期的に職員全員で立案会議を行い、子ども達から出る要望や意見を検討しながらプログラムの作成や見直しをするようにしています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	児童を支援する職員を固定化せず、いろいろな職員がいろいろな考えを持ちながら関わることで、活動に変化をもたせながら職員全員でお互いの思いを受け入れながらチームで支援しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子ども一人一人の発達の状況や、得手不得手を考慮しながらじっくりと取り組める個別活動を取り入れたり、小集団または全員で友だちと関わりながら心身ともに様々な体験ができる集団活動を組み合わせながら活動計画を立案するようにしています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には短時間でもミーティングをし利用児童の目標や気をつける点、家庭からの伝達を共有したり、職員も体調や役割分担、送迎時間と担当者などを確認するようにしています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了(送迎)後、その日関わった子どもの様子やエピソード、気になる言動などを共有したり、送迎時に保護者や学校(緊急事項ではない)から伝えられた内容などを報告したりするようにしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援終了後に子ども達の様子を一人一人記録している。その際、記載する職員の主観が入らないよう周りにいる職員とも検討するようにしています	記録についてはほぼ全職員が関わって記入するようにしているが、児童発達支援管理責任者以外なかなか見直しをする機会がないので今後検討していきたいと思います

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングは時間をつくってもらうなど保護者の方にご負担をかけるので、できるだけ送迎時や子どもの（個人）LINEを使って様子を伝えしたり、家庭での様子を確認したりする等活用しています。また、小学校高学年以上の子どもには直接ご本人とじっくりと話をする機会をつくって本人の困り感の確認等しながら計画書の見直しをするようにしています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	ガイドラインの「4つの基本活動」についてはそれぞれを組み合わせ計画し、子ども達がいろいろな経験ができるようにしています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子ども達と話し合いの場を設け集団での活動については他児を誘って一緒に準備をしたり、内容の確認をしたりするなど子どもが主体的に活動できるようにしています。また、活動が見つけない子どもには複数の活動を提案して自己決定できる機会をつくるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	各関係機関との支援会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。また、必要に応じては特定の子どもに関わる機会の多い保育士に同席を依頼することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	利用前（入学前など）には保育所等から情報を得たり、学校に行きにくい子どもの在籍校と情報共有をしたりとその都度必要に応じては連携をしながら支援を行う体制をとることもあります。	医療機関等に関しては現在連携の必要性を感じる子どもがいないので連携していませんが、必要と判断した場合は連携を取りながら支援していきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	毎月保護者の方から学校の下校時間、行事等による利用の有無などを記載する「利用予定表」を提出していただいております。基本的には学校との連絡は保護者に取り合ってもらい、送迎時間の変更などをお伝えいただくようにしています。ただ、緊急な下校時間の変更、トラブル、体調不良等については学校と直接連絡を取り合うようなこともあります	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	就学時の入所児については、支援会議のなかで情報共有したり、場合によっては保護者の許可を得て事業所に情報提供をお願いすることもあります	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		現在該当者はありませんが、今後事業所から依頼された場合は保護者の方に許可を得て情報提供をしていきたいと思います
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	現在はありますが、支援会議等で利用児が関わっている専門機関があれば助言等を伺い、職員間で情報共有し、支援方法の改善に役立てるなど努力をしたいと思っています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	通常児童クラブや児童館との交流はしていませんが、動物を飼育しているため、地域の保育所の園児さんの訪問があったり、定期的開催しているマルシェなど施設をオープンにしていることが地域の子ども達とのつながりになっています	

保護者への説明等	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		協議会への参加はできていません。今後、検討していきたいと思います
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の送迎時にちょっとしたことで子どもの様子や成長した姿などを保護者に伝えて安心してもらえるようにしています。また、必要な時は子ども一人一人の個人のグループLINE(保護者とスタッフ)や電話で課題や状況を伝え、共通理解を得るようにしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	全体的なペアレントトレーニングとしての取り組みはしていませんが、保護者がわが子との関わり方に悩んでおられる時は個別で特性や関わり方をお伝えし、接し方への不安を少しでも和らぐようアドバイスをすることがあります	アドバイスについては職員の中にも得手不得手があるのでこれから研修を重ねてどの職員に聞かれても自信をもってできるようにしていきたいと思います
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	ご利用前の見学や契約時に説明させていただいています。規定や支援プログラムなどで変更があればその都度個別にお伝えさせていただいています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別支援計画書の作成時だけでなく、日頃の療育の中や送迎時などを利用し、子どもやご家族のご意向を確認するようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		送迎時など直接お会いして支援内容などを説明するようにしていますが、お忙しい時間だったり、お仕事で時間がとれなかったりするなどなかなかお会いするタイミングが合わないこともあり、短時間で一方的な説明になることが多い気がします
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者から相談の連絡があれば、その都度電話やLINEなどでお話を聞くことがあります。また、必要な時は事業所に来訪していただき相談を受けるようにしています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		奉仕作業やマルシェなどで保護者同士が関わることはあるが、楽しみになる企画がなかなかできていないので今後状況を見ながら検討していきたいと思います
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情の内容によってはすぐに対応できないこともあるが、子どもや保護者からの意見はきちんと受け止め、職員間でも共有しながら出来る限り迅速に対応するよう心がけています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HPの更新やLINEを使っでの情報発信は必要な時にするようにしています	年に数回お便りを出すよう心がけてはいるが、なかなか思うようにできていないのももう少しこまめに全体への情報発信をする機会を増やしていきたいと思います
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		取り扱いについてはしっかりと管理をするようにしています。今後も適切に個人情報の管理ができるよう十分に配慮していきたいと思っています
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもの特や状況に応じて視覚的に提示したり、ゆっくりと繰り返し声がけをしたりする等子ども理解に合わせた配慮をしています	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		マルシェを通して少しずつ事業所への関心はもってもらえているが、事業所の取り組みをさらに理解していただくためにも行事等に参加してもらうなど、地域の方との交流を深める機会をもてるよう計画していきたいと思います
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		マニュアルはそれぞれ作成してあります 職員間では目を通したり、シミュレーション訓練などは行っていますが、保護者の方への周知の機会がなかなかないので今後検討していきたいと思います
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	さまざまな災害を想定して定期的に訓練を実施しています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	入所前のアセスメント、また定期的な面談等で必ず確認し、定期受診などに行かれた際は結果等を伺って職員間で共有するよう心がけています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーの有無については入所前のアセスメントでしっかりと聞きとり職員間で共有しています アレルギーがあり、医師の意見書等のある子については指示に従って対応するようにしています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	年間の避難訓練計画や実施後の報告書の作成、また職員間での振り返りなどをしています また、遊具や作業道具などは危険箇所がないか職員がそれぞれ定期的に確認をしたり、処置をしたりするよう心がけています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		避難訓練をした時はお便り、または口頭、LINEなどで様子をお知らせするようにしていますが安全計画等についての細かい説明をしていないので今後検討していきたいと思います
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事故や怪我に繋がること、また子どもの様子で危険と感じたことなどがあればすぐに責任者に報告をし、報告書に記載すると同時に職員会を早急に関き職員全員で共有するようにしています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	最低でも年に一度は研修を行なっています また、新しい職員、ボランティアの方が入られた時にもきちんと研修を行い虐待に繋がらないようお互いに意識しています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	5		特に必要性のある子どもの利用がないため、記載はしていません